

清水海岸の情報を提供する ホームページを開設しました ～清水海岸ポータルサイト～



清水海岸の魅力を紹介します

海岸侵食に関する情報です

津波や地域防災に関する
情報につながります

◎「まず、行ってみよう」というページをめざします

清水海岸では、高潮などの自然災害から地域を守る対策を実施しています。なぜ対策が必要なのか、どんな危険があるのか。地域の皆様に、是非、知っていただきたいと考えています。

地域の防災について、知りたいという方も増えていると思います。東日本大震災以降、地震や津波について問い合わせをいただくことも多くなりました。そこで、防災に関連する市や県のページにつながる窓口にもなろうと考えています。

清水海岸について調べたいと思ったときは、まず、このページにきてください。

◎海岸侵食対策を広く知ってもらおう

清水海岸がかかえる問題に「海岸侵食」があります。

海岸は高潮や津波などの波浪を軽減させ、堤防を守る防災の基礎になるものです。この海岸を守ることが、最も基本的な防災対策になります。

「海岸侵食」がどのような状況にあるのか、なぜ対策が必要なのかを知っていただきたいと考えています。

◎地域と連携し、地域の情報を発信します

「旅行に行きたい」「〇〇の名所はなんだろう」と思ったとき、インターネットで調べる方が多いのではないのでしょうか。これから富士山世界文化遺産の登録に向け、多くの方がインターネットを通じて「三保松原」や「清水海岸」について調べると考えられます。そんな要求に応えるため、清水海岸の魅力も発信していきたいと考えています。

地域のことを一番良く知っているのは、地域の皆さんです。新鮮で奥深い情報を提供できるよう、地域の団体とも連携して情報を発信したいと考えています。

◎「清水海岸」で検索してください

ヤフーやグーグルなどの検索サイトで、「清水海岸」と入力して検索してください。

上位に「清水海岸ポータルサイト」が表示されます。アドレスは「http://shimizu-kaigan.net/」です。



波音

清水海岸だより 第16号

特集

「世界文化遺産(候補)」の海岸を守る その2 —地域と手を携えて—

富士山を背景にたくさんの風が舞い、「どんど焼き」の煙が高々と上がる。正月明けの三保地区で、毎年見られる風景です。この「どんど焼き」で、三保連合自治会と静岡県静岡土木事務所との連携が始まりました。美しい海岸を美しく保つため、地域と思いをともにした取り組みです。今年6月に正式な発表を待つ「富士山世界文化遺産登録」。世界に誇る景勝を、地域とともに守っていききたいと考えています。



Shimizu Kaigan Dayori NAMIOTO お問い合わせ、ご意見はこちらまで



New Public Engineering for SHIZUOKA
いっしょに、未来の地域づくり。
静岡県交通基盤部

静岡県静岡土木事務所
〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20
TEL 054-286-9156 FAX 054-286-9100
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/>
E-mail shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp

「世界文化遺産(候補)」の海岸を守る その2

静岡県では富士山の世界文化遺産登録を目指しており、三保松原と付近の海岸(清水海岸)はその構成資産のひとつとなっています。今年6月の正式な登録が期待されているところです。

古より名高い景勝地は現在までその美しさを保ち続け、登録を機に海外にもその名を知らしめようとしています。そんな景勝地を美しく保つ活動は、地元の海岸を愛し次代に引き継いでいこうという「志」ある皆さんに支えられています。その活動の一部を、前々号でも紹介させていただきました。

▶「焼きイモ」大会 ~三保ハーバルキャンプ場[(株)しずおか体験企画]との連携~

流木と松葉で、特産のイモを焼く

たき火から取り出したアツアツの焼きイモを、幼稚園児達が美味しくほおぼる。

平成25年1月12日に開催された「静岡県私立幼稚園子育てフェアin清水」のひとつです。場所は「三保ハーバルキャンプ場」。海岸で行われた凧揚げの後に、毎年の恒例行事となっています。

「このイベントは毎年楽しみにしてくれる人が多くて、とてもやめられないですよ。」(株)しずおか体験企画の宮城島さんが語ってくれました。

イモを焼きたき火には、静岡土木事務所が提供した「流木」と松原の清掃で集めた「松葉」が使われました。三保の隠れた特産であるサツマイモだけでなく、調理にまで地元のものが使われています。



▲キャンプ場に運び込まれた流木

海岸愛護の「資源」にも

キャンプ場では調理やキャンプファイヤーで薪を使います。今回の催しだけでなく、これからも定期的に流木を提供してキャンプ場で有効利用していただく予定です。

「キャンプ場利用者に流木を利用することの意義を話し、環境教育にもつなげたい。」と宮城島さん。提供した流木を薪として資源にするだけでなく、海岸や環境を大切に思う心を育てていただけそうです。

今回のポイント

「流木を有効利用して、海岸をきれいにする」

ゴミをみだりに焼却処分することは、法律や県の条例で禁止されています。行政も例外ではなく、我々が流木を野焼きすることは認められていません。決められた処分場で処分しています。

しかし、今回のような地域行事やイベントでの「たき火」は、例外として認められています。どうせ燃やすのなら流木を資源として有効活用し、海岸美化にも寄与しよう。連携していただいた皆さんの気持ちが、今回の取り組みを支える「柱」です。

我々もさらに多くの流木を撤去できるという副次的な効果もあります。



—地域と手を携えて—

静岡県静岡土木事務所は、そんな皆さんと「志」を共にして景勝地を少しでも美しく保ちたい。皆さんとどのように連携したらよいか、何か支援できることはないか、と考えてきました。

そして地域の団体と連携し、最近その処分方法が問題となっている「流木」を、「有効な資源」として活用していただく。そんな取り組みをスタートしました。

▶「どんど焼き」 ~三保地区連合自治会との連携~

流木で「どんど焼き」のやぐらを組む

どんど焼きは、正月明けにお飾り等を燃やす毎年恒例の地域行事です。

今年も平成25年1月13日、三保地区にお住まいの方が正月飾り等を持ち寄り開催されました。

凧揚げ大会もあわせて行われ、どんど焼きの煙が立ち上る周りで、たくさんの凧が天高く舞いました。

今回、どんど焼きの中心となる「やぐら」に、静岡土木事務所が提供した流木を使っていただきました。



正月をきれいな海岸で迎える

どんど焼きとキャンプ場の焼きイモに使用した流木は、年末に羽衣の松から釜ヶ崎付近にかけて集めたものです。観光客や初日の出を迎える方々が、気持ちよく海岸で過ごしていただけるよう心を込めて清掃しました。

「こういう話は、もっと早く進めてもよかったね。」今回の取り組みをお話した際に、三保地区連合自治会長・内藤さんに言われた言葉です。これからもお力添えをお願いします。



▲羽衣の松周辺の流木撤去工事

静岡土木事務所より

地域の理解と協力に感謝

今回の取り組みは、協力いただいた皆様のおかげです。あらためて感謝申し上げます。

皆様それぞれが海岸について「志」や「思い」を持っておられ、そこに寄り添うことで今回の企画が実現しました。

流木は薪という「資源」だけでなく、地域をつなげる「資源」にもなる。

「志」ある皆さんの知恵を借りて、流木という問題に新たな対策の光が見えてきました。

連携の輪を広げていく

そんな知恵を持つ皆さんこそが、地域の「資源」です。この企画を進める中で、他にも地域の「資源」である団体が数多くあることを知りました。

そのうち幾つかの団体とは、具体的な連携の話が進んでいます。地域の「資源」である皆さんと連携し、富士山世界文化遺産の構成資産である海岸を、美しいだけでなくより魅力的にするための一助となりたい。今回のような連携や支援を続けていきたいと考えます。

